



松永 修巳

まつなが おさみ(66)
市川市原木1-22-16
電話&FAX:047-327-1470

- 民生経済常任委員会委員
浦安市川市民病院協議会委員
環境審議会委員
緑風会会派代表
市川市ソフトボール協会会長
元 船橋市役所職員局長
市議会事務局長
市議会経理部長
前船橋市
中小企業労働者福祉サービスセンター常務理事



荒木 詩郎

あらかしろう(51)
市川市塩浜4-2-50-601
電話:047-395-8171
FAX:047-395-8171
E-mail:pop.s@araki.net
HP http://www.s-araki.net

- 《役職》
市川市議会
民生経済委員会副委員長(平成15-16年)
総務委員会委員(平成17-18年)
行徳臨海部特別委員会委員(平成17-18年)
千葉県民社協会理事
(財)富士社会教育センター社会科専攻員
ハイタウン塩浜第一住宅自治会役員



五関 ただし

ごせき ただし(58)
市川市北方3-22-18
電話:047-333-4058
FAX:047-333-6200

- 《スローガン》
◆少子高齢化社会の教育福祉問題
◆小児医療体制の確立
◆文化ロードの創設
◆自然環境の保全
《役職》
総務委員会委員
卸売市場審議委員

地域・市民の代弁者として

私は市政活動において各議会で増上した各問題提起を含めた質問を行ってまいりました。検証の意味も含め17年分の概要を報告させていただきます。ぜひ参考にしてください。

2月定例会

- 道路問題について
京葉道路原木IC(県道船橋行徳線)の車線増設について、又、通行料100円の撤廃はできないか(12月に再質問)
二俣川に蓋かけをして歩道としての整備は京成電車に開通して
国府台から鬼越迄の4.5kmにわたる京成電車の連続立体化事業の構想と駅名変更することの陳情のその後の経緯について
中山駅周辺商店街の活性化策について
中山駅周辺商店街の活性化策について
健康スポーツ「スポーツ吹矢」の導入、普及について

6月定例会

- 道路交通対策と防犯対策について
JTBバス(二俣川西船橋間)の乗降が出来なくなり困惑しているの復活を国に働きかけをして欲しい
コナナンHCの開業により人身事故が発生している。悲惨な事故が発生しないよう安全施設を施して欲しい。併せて防犯対策として青色パトカーによる徹底的なパトロール活動に対する考え方は
クリーンセンター余熱利用施設用地内にダイオキシンが検出された為、工事が中止された。その内容と実際にはいつ完成するのか
JRAの環境整備事業寄付金については昨年年度は3億5千万円余となっていた。この寄付金を充当する事業はどのように決定されるのか。そしてこの寄付金を充当して次の2件の整備についての考え方は
二俣川に蓋かけをして歩道を整備する。又歩行者の安全確保に向けて道路新設の考え方は
中山商店街を中心とする地域を活性化させる為の事業に重点配分をできないか
市街化調整区域内の建築問題
原木2丁目地域は調整区域でありながら第一種低層住居専用地域の指定がされているが市の現状認識と今後の対応策は
原木地先の違法建築物は近隣に影響が生じ、緊急の要請書が出されたが、市の対応は

実現しました!!

行政改革

平成17年6月議会(一般質問)
退職金のお手盛りを廃止
市川市ではこれまで、職員が退職する3月31日に特別昇給させた上で退職年数を受け、退職金額を計算するというやり方で、お手盛りの退職金が支給されていましたが、こうした不透明な退職金の支給は市民の理解を得られないと主張し、この制度の廃止を約束させました。

安心(平成16年9月議会一般質問)

危機管理体制の一元化
地震、火災、水害、武力攻撃など、どんな事態にも対応し、市民の安全を守る事ができるような対応策を検討すべきだと主張しました。この結果、平成16年度から消防局に移行され、さらに平成18年度からはこれが「危機管理課」となっており、あらゆる危機に一元的に対応できる体制がとりあえず確立しました。今後はこれを「危機管理統括部」に格上げするよう求めていきます。

高齢者(平成17年12月議会一般質問)

高齢者対象のIT講習会が実現
世界一のIT先進都市といわれている韓国の江南区ではお年寄りの方も当たり前のようにはパソコンを使いこなしていきま。この視察体験を例に引きながら「市川市でも住民がだれでもインターネットを利用できるような環境整備をするべきである」と主張しました。この結果、平成18年度予算では市内全部の「老人いこいの家」にパソコンが整備され、また高齢者を対象にしたIT教室が開催されることになりました。

防災(平成16年12月議会一般質問)

いざというときに役に立つ
防災訓練の実施
どこの地域でもマニュアル通りの防災訓練を実施するのではなく、大きな団地や大規模マンションが立ち並ぶところは隔壁突破訓練を重視するとか、平屋の戸建が密集しているところは消火器訓練を重視するとか地域に応じた訓練をぜひやっていただきたいと要望しました。市長は「地域住民による地区拠点での実践的な訓練の実施(平成17年度実施方針)」を約束し、平成17年から「地区拠点対応訓練」がはじまりました。



この一年間に寄稿した主な論文

- 『平成17年度予算に関連して』 3月1日 民社協会発行「地方政治情報」
『行政改革推進の新たな指針について』 6月1日 民社協会発行「地方政治情報」
『団体間で比較可能な行政情報の開示について』 9月1日 民社協会発行「地方政治情報」
『公務員改革について』 11月11日 財団法人富士社会教育センター発行「自治レポート」
『公営住宅制度について』 12月1日 民社協会発行「地方政治情報」

東山魁夷記念館建設

平成十一年九月(十七年十一月)
私は、市議第一の仕事として平成十一年九月議会で東山画伯が数々の作品を生み出した中山に「東山記念館」を建設すべきと、議会で要望、提案をしました。その後平成十二年、十四年、十五年と建設促進するよう質問をして、平成十七年十一月の開館となりました。
東山画伯が留学したドイツの小さな町にある民家風の記念館には本画を始め、画伯の愛用した遺品も展示されています。記念館には年間十万人の来館者が見込まれます。しかし主要駅から坂を含む1kmという場所があり、交通手段の一つであるバスが一時間に一本しかありません。せっかく観賞して下さったお客さまは、帰りのバスが無く、タクシーを呼ぶか、高齢者は二十分〜三十分の道のりを徒歩で帰る事になります。記念館をもっと気軽に楽しんで頂けるよう、また、地域住民のためにも、バスの本数を増やす交渉を要望しました。

「ホットするまち・市川」の実現に向けて

福祉・教育・文化・治水 ほか議会で質す

平成十二年五月、道路交通法の改正により、バス事業者の判断により路線変更ができるようになりました。その結果、市内で交通不便地域が発生し市民の快適な生活が奪われてしまうことに危機感を感じ平成十六年三月議会に於いて本市の南部北部地域にコミュニティバスを導入し、市民の利便性を高めるべきではないかと質問し、昨年十月より、運行が開始されました。(外出には車、自転車、徒歩が便利ですが、コミュニティバスを皆様の足としてご利用下さい。)

その他のアクション

- ◆市民の貴重な文化的遺産である姥山貝塚の活用について
◆市民プールのリニューアルと拡充のための用地取得状況について
◆市東部地区下水道計画のその後の経過について
◆大柏調節池の整備構想について